

第 141 回 銀行業務研修・中級コース

第 19 回 融資業務コース


(関係部門へご回覧下さい)

## 「融資業務・融資システムの概要と構成」

システムエンジニアに求められているものは、単にITの技術要素に詳しいということだけではなく、業務知識をベースにして、システム企画を立案、開発をするスキルです。

本コースは、フィンテックあるいは事業性評価融資などという最近の動向などを踏まえつつ、銀行システムを俯瞰しシステムエンジニアから見た融資業務をワークフローの視点から説き起こし、システムの視点から解説することにより、融資システムを網羅的かつ体系的に理解していただきます。

- ★業務知識をベースに業務プロセスを理解しながら、システム企画・開発をしていますか？
- ★システムを把握するために業務そのものをビジネスロジックとして理解していますか？
- ★信用リスクの高度化を見据えたシステム企画・開発をしていますか？
- ★勘定系や周辺システムとの関連を理解したうえでシステム企画・開発をしていますか？

開催日：2018年6月28日(木)・29日(金)

会場：ニッキンホール(東京・市ヶ谷)

講師：(敬称略)

富士通株式会社

金融ソリューション開発事業部 PROBANK 担当 アドバイザー  
兼 富士通エフ・オー・エム 専任部長 斎藤和男

**CMC**

Computer Based Management College

<http://www.nikkinc.co.jp/cmc/>

※上記サイトからWebでの申し込みが出来ます

後援 一般社団法人 全国地方銀行協会  
一般社団法人 第二地方銀行協会  
一般社団法人 全国信用金庫協会  
一般社団法人 全国信用組合中央協会

## ☆研修のねらい

銀行の3大業務の1つである「融資業務」の知識と関連システムについて特化し、「融資部門」に特有の業務知識およびシステムの理解と習得を図ります。銀行業務の中でも特に難しい融資業務を基礎より理解し、金融機関の担当者と同等のレベルに引き上げるために必要な用語、実務知識を身に付け、融資関連システムの今後の企画・開発・運用業務および効果的なシステム導入の提案・営業活動などに役立てていただくことをねらいとします。また、政府や監督官庁などが言い始めている事業性評価やフィンテックに触れつつ最新の動向も解説します。

## ☆研修のテーマ

- ・金融機関の営業店や本部の現場における融資業務はどのように位置付けられているのか、実際にどのような実務内容か、今後の展開はどのようなようになるのか、融資商品はどのようなものが開発されているのか、新しい融資の形態とはどんなものかを解説します。システム的な観点からは、勘定系システム、融資業務支援システムおよび関連システムについての説明を行います。
- ・営業店の融資・渉外担当者のワークフローを検証することにより、今後のシステム対応についての改良点やヒントを掴めます。
- ・本部では、どのような審査業務が行われているのか、融資の実行に際しての判断や取引の可否はどのように行われるのかを解説します。日米の融資管理の違いも解説します。
- ・融資業務において融資担当者がどのような観点から取引先を分析しているのかを理解して、渉外（融資）支援システムに反映できる業務ノウハウを提供します。
- ・融資に際して重要となる金融庁の金融レポートおよび金融行政方針・検査結果事例集を理解できるようにします。

## ☆研修の対象

金融機関での融資経験がなくシステム部やシステム関連会社の担当となった方、金融機関を対象にするメーカー・ベンダー社員（特に、新たに融資業務系システムの企画・開発・運用担当になった方）、金融機関を営業対象とする企業の担当営業社員・SEの方、「銀行業務研修・基礎コース」を修了された方。

## ☆開催要綱

**日 程：** 2018年6月28日（木）～29日（金） 2日間

**時 間：** 1日目 10：30～16：30（10：00受付開始）

2日目 10：00～16：00（9：30受付開始）

**講 師：** 斎藤 和男 氏

**会 場：** ニッキンホール（東京・市ヶ谷）

**受講料：**・CMC会員価格 62,640円（本体価格58,000円、消費税4,640円）  
（CMC金融機関機械化研究会会員、金融ニュービジネス&テクノロジー研究会会員）  
・後援協会会員価格 66,960円（本体価格62,000円、消費税4,960円）  
・一般価格 71,280円（本体価格66,000円、消費税5,280円）  
（2日間とも昼食はこちらで用意いたします）

**定 員：** 40名（最少開催人員10名）

## ※講師のご紹介

**斎藤 和男 氏**

（富士通株式会社 金融ソリューション開発事業部 PROBANK担当 アドバイザリー  
兼 富士通エフ・オー・エム株式会社 専任部長）

旧第一勧業銀行（現みずほフィナンシャルグループ）入行。営業店経験の後、事務部・システム部等で勘定系・情報系システム開発に従事、その後、通産省（現経済産業省）に出向。さらに本店にて本店営業部・国際部（海外派遣）・人事部・企画・検査・総務・審査、また支店長を歴任、システム部・本店審議役・DKIS（第一勧業システム開発）取締役銀行システム部長を経て、2000年富士通に入社、PROBANK担当主席部長就任。2012年富士通エフ・オー・エムに転籍。

「融資業務・融資システムの概要と構成」

カリキュラム

<p>1日目 6月28日(木) 10:30~16:30 (10:00受付開始)</p>	<p>2日目 6月29日(金) 10:00~16:00 (9:30受付開始)</p>
<p><b>I. 研修の狙いとその概要</b></p> <p><b>II. 銀行における「融資」とは？</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. B/Sから見た融資</li> <li>2. 銀行組織内での融資</li> <li>3. 融資に関連する担当者</li> </ol> <p><b>III. 銀行における融資業務の位置づけ</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 組織と体制</li> <li>2. 融資業務の具体的内容</li> </ol> <p><b>IV. 融資業務のワークフロー</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 融資の受付</li> <li>2. 申請書(稟議書)の作成</li> <li>3. 融資判断・審査業務</li> <li>4. 融資の実行</li> <li>5. 融資(先)管理</li> <li>6. 監査業務(内部・公的)</li> </ol> <p><b>V. 企業の見方(審査業務)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 決算書の読み方ほか</li> <li>2. 日米の融資管理方法</li> </ol> <p><b>VI. 最近の金融仲介業務に関する行政動向</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業性評価融資</li> <li>2. ベンチマークなど</li> </ol> <p><b>VII. 融資業務の商品体系</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 商品体系</li> <li>2. 新しい融資商品・フィンテック</li> </ol>	<p><b>VIII. 融資システムの概要</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 勘定系システムの概要</li> <li>2. 当座貸越</li> <li>3. 証書貸付</li> <li>4. 手形貸付</li> <li>5. 割引手形</li> <li>6. その他</li> </ol> <p><b>IX. 周辺システム</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個人ローンプロセス</li> <li>2. 個人ローン審査システム</li> <li>3. 融資支援システム</li> <li>4. 不動産担保評価・管理システム</li> <li>5. 財務情報管理システム</li> <li>6. 内部格付制度</li> <li>7. 格付・自己査定システム</li> <li>8. 延滞管理システム</li> <li>9. 周辺システムデータ連携</li> <li>10. ALM(資産・負債総合管理)</li> <li>11. 契約書作成支援システム</li> <li>12. 債権書類管理システム</li> </ol> <p><b>X. 融資システムの課題・方向性</b></p> <p>※2日間とも昼食はこちらで用意いたします</p>

2 3

第 19 回 融資業務コース

融資業務・融資システムの概要と構成

ホームページ用受講申込書  
2018年6月28日(木)～29日(金)開講

貴社名

所在地 (〒 - )

連絡責任者

T E L

部署・役職

F A X

	参加者氏名	所属(部・課・グループ)	役職

☆お申し込みいただきました方には、受講証・請求書・会場地図を郵送いたします。

☆一週間経過しても届かない場合はご連絡ください。

**受講料**

A : 6 2 , 6 4 0 円 (本体価格 5 8 , 0 0 0 円) < C M C 会員価格 >  
B : 6 6 , 9 6 0 円 (本体価格 6 2 , 0 0 0 円) < 後援協会会員価格 >  
C : 7 1 , 2 8 0 円 (本体価格 6 6 , 0 0 0 円) < 一般価格 >

(2日とも昼食はこちらで用意いたします)

お問い合わせは、

C M C T E L 0 3 - 3 2 6 1 - 4 5 5 0 F A X 0 3 - 3 2 6 1 - 4 5 7 0 まで。

注 : (振込先銀行) みずほ銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1 7 9 7 0 4 2

(名義) 株式会社 C M C

振込予定日 (できるだけご記入ください) 月 日

受講についてお願い

- ①受講料は、できるだけセミナー開催日までにお振込みください。
- ②銀行振込の場合は領収書を発行いたしません。
- ③銀行振込に際しては、可能であれば貴社名の前に請求書番号の下3桁(枝番数字)を付記してください。  
振込手数料は貴社でご負担をお願い申し上げます。
- ④開催日一週間以内のキャンセルはできません。
- ⑤講演中は、録音・撮影ならびに携帯電話・パソコンの利用はご遠慮ください。
- ⑥諸般の事情により開催を中止させていただく場合がございます。